

令和元年度(2019年度)

管理事業名	緑化推進事業				総合計画の体系	大綱 6 都市形成 政策 1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 施策 3 みどりの保全と創出
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 6 緑化推進費
部局名	土木部	予算執行所属	公園みどり室			
予算大事業名 緑化推進事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 緑地の保全、緑化の推進に関する施策を実現し、みどりのまちづくりを進めます。 【概要】 民有地の緑化を推進するため、みどりに関する協定の締結や助成制度の活用を図ります。 市民参画・協働によるみどりのまちづくりに参加するきっかけづくり、普及・啓発による意識の向上を目指したイベント等を実施します。4月に緑地内で実施する「たけのご掘り」、秋に花とみどりの情報センター主催による「花と緑のフェア」への出展、竹林の暗闇の中で、竹筒の幻想的なあかりや楽曲を楽しむ「千里の竹あかり」、及び2月に市民の慶事を記念した植樹「記念植樹」を実施します。 みどりの現況等を適切に把握したうえで計画的に実施するため、基礎調査や「みどりの基本計画」等の計画・方針策定を行います。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
みどりの協定締結数	件	33	28	28	みどりの協定を締結した件数(累計)
千里の竹あかりの参加者数	人	0	0	1,748	千里の竹あかりの参加者数(平成29・30年度は中止)
成果の説明	みどりの協定締結数は、横ばいで推移しています。 千里の竹あかりは、平成29年度(2017年度)と平成30年度(2018年度)、いずれも台風の影響により中止したため参加者はありません。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	305	80	280	200
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	39	49	9
経常収入 小計(a)	305	119	329	209
給与関係費	40,455	51,844	46,177	△5,668
物件費	7,735	1,328	10,614	9,285
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	627	1,062	384	△678
特別会計への繰入金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	3,258	4,049	3,953	△96
退職手当引当金繰入額	△2,467	12,248	△3,695	△15,943
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	49,609	70,532	57,432	△13,100
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△49,304	△70,412	△57,103	13,309
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△49,304	△70,412	△57,103	13,309
一般財源充当額	56,191	23,131	64,653	41,522
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰入金	-	-	-	-
再計	6,887	△47,281	7,550	54,831

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
寄附金	寄附金280千円(+200千円) 指定寄附金 3件
給与関係費	職員人件費 46,177千円(△5,668千円) 時間外勤務手当、事業従事人数の減少
物件費	委託料8,852千円(+8,852千円) 都市公園の整備と管理の方針策定委託料 5,076千円 公園等維持管理モデル検討委託料 2,970千円 ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	305	119	329	209
行政サービス活動支出	56,196	62,165	64,702	2,536
行政サービス活動収支差額	△55,891	△62,046	△64,373	△2,327
投資活動収入	-	39,000	-	△39,000
投資活動支出	300	85	280	195
投資活動収支差額	△300	38,915	△280	△39,195
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△56,191	△23,131	△64,653	△41,522
一般財源充当額	56,191	23,131	64,653	41,522
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰入金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	(行政サービス活動支出) 給与関係費等 64,702千円(+2,536千円)
--------------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	平成29年度	370,072 人	134 円	市民1人あたり154円のコストがかかっています。 給与関係費の減少などにより、コストが減少しています。
	平成30年度	371,030 人	190 円	
	令和元年度	373,978 人	154 円	
	平成29年度		円	
	平成30年度		円	
	令和元年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	4,049	3,953	△96
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	4,049	3,953	△96
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	固定負債	44,536	37,363	△7,173
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	44,536	37,363	△7,173
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	48,585	41,315	△7,270
重要物品	-	-	-	純資産	670,966	671,516	550
図書館資料	-	-	-	出資金	-	-	-
投資その他の資産	719,551	712,831	△6,720	長期貸付金	-	-	-
出資金	390	390	-	基金	719,161	712,441	△6,720
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	719,161	712,441	△6,720	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	719,551	712,831	△6,720
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	719,551	712,831	△6,720

Ⅲ 財務構造分析

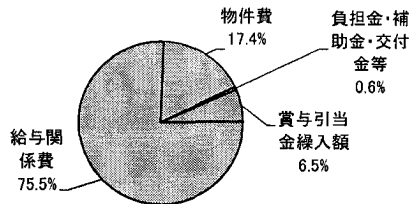
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
事業従事人数	6人	人	人	10日	人	46,434
給与関係費等	46,339千円	千円	千円	96千円	千円	46,434
内、時間外勤務手当	3,012千円	千円	千円	千円	千円	

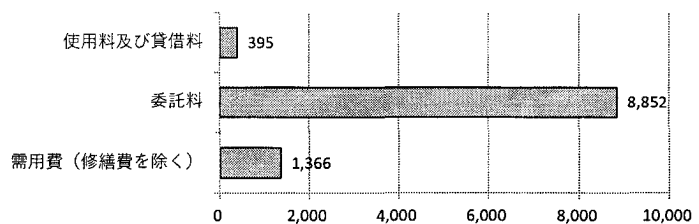
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
出資金	(公財)大阪みどりのトラスト協会 出捐金 390千円
基金	吹田市緑化推進基金 △6,720千円 7,000千円の取崩 2事業に充当

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)		
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	99.5	37.2	99.5	62.3

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものについては、給与関係費46,177千円(75.5%)、物件費10,614千円(17.4%)となっています。給与関係費の差額については、事業従事人数の減少によるものです。物件費の主な内訳としては、都市公園の整備と管理の方針策定業務の委託料5,076千円、公園等維持管理モデル検討業務の委託料2,970千円、及びみどりの協定の花苗代等972千円となっています。寄附金については、計3件280千円であり、緑化推進基金に積み立てました。また、緑化推進基金7,000千円を取崩し、樹木再資源化事業に2,000千円、緑化重点地区整備事業に5,000千円を充当しています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

今後の概ね10年間の具体的な整備と管理の方策を示す「吹田市都市公園等整備・管理方針」の策定は大きな成果と捉えています。今後はこの方針に基づき主要な公園におけるパークマネジメント事業の推進等、多様な主体によるみどりのまちづくりを着実に実現させていく必要があると考えています。また、みどりのまちづくりに関する市民や事業者の意識の向上のため、イベントを通じた普及・啓発を行ってまいります。竹林を活用したみどりの保全意識の普及・啓発については一定の成果を得られたと考えており、「千里の竹あかり」と「たけのこ掘り」については次回開催を最後に終了とし、今後は竹に限定しない、みどりの保全の取組を図ってまいります。みどりの保護及び育成に関する協定の締結など、様々な助成制度の活用についても、多様な主体とのパートナーシップに基づく都市公園等行政の推進を図るために、類似の事業相互の関連を整理し、市民ニーズにも対応したより効果的な事業体系となるよう、今後、見直しを更に進めていく必要があると考えています。